

3 M™ ベアーハガー™ ブランケット 使用のポイント

アンダーボディブランケット Model 585

体温維持が難しい砕石位で効果を発揮する
手術台に敷くタイプ

砕石位



販売名：3 M ベアーハガー ペーシエントウォーミング ブランケット／認証番号：223ADBZX00108000

3 M、ベアーハガーは、3 M社の商標です。

本資料に関するお問い合わせは、スリーエム ジャパン株式会社 医療用製品事業部：3mhc.jp@mmm.com へお願いいたします。

体温維持が難しい砕石位で効果を発揮する手術台に敷くタイプ

砕石位



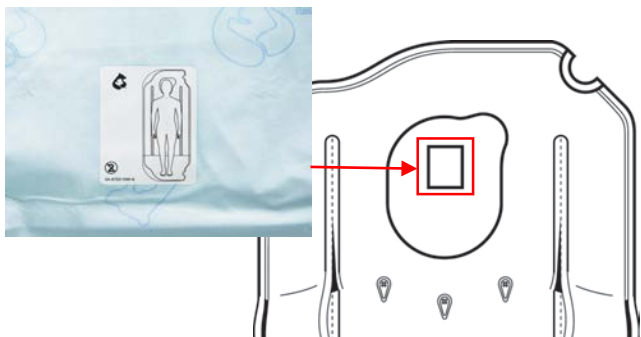
【シーン：準備】

ウォーミングブランケットの手術台へのセッティング

Point 1

位置決め

頭部にシールが貼付されている面(孔がある面)を上にして、手術台に敷く。



🔍 ワンポイント!

臀部の左右のタイストリップのスリットを切り離す。必要に応じてかまぼこ型部分を切り離し、手術台にあわせて位置を決める。



Point 2

固定テープによる
手術台への固定

ズレ防止のため、裏側(手術台側)の頭部・足側2箇所にある固定用テープのライナー紙をはがし、手術台に固定する。



Point 3

フラップによる
手術台への固定

両サイドのフラップを手術台のマットに挟み込み、固定する。



体温維持が難しい砕石位で効果を発揮する手術台に敷くタイプ

砕石位



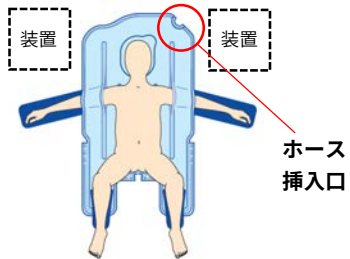
【シーン：準備】

温風式加温装置のセッティング

Point 1

位置決め

他の医療機器等を考慮して、温風式加温装置の位置を決める。ウォーミングブランケットの挿入口側もしくは反対側に装置をセットすることが可能。



Point 2

エア-ホースの接続

設置した装置に近い方の挿入口のホースカードを外す。挿入口を変更したい場合は、外したホースカードで再度塞ぐ。



Point 3

固定具を活用した
エア-ホースの固定

高温になったエア-ホースが患者体表面に近づきすぎないように、必要に応じて固定具を活用する。



シートクリップ



ホースクリップ



🔍 ワンポイント！

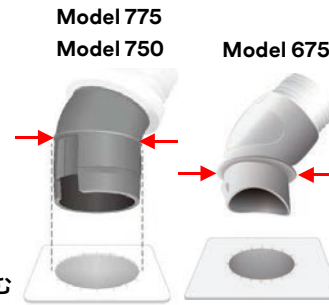
挿入口の反対側に装置をセットした場合は、エア-ホースを手術台の下から通すなどして、固定具等を使用し固定する。



🔍 ワンポイント！

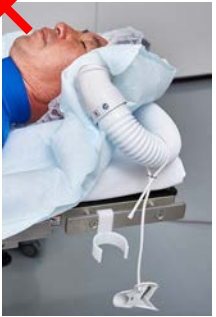
患者体表面にエア-ホース先端部が接触しないように、ホースを差し込み過ぎないように注意する。

矢印部分まで差し込む



🔍 ワンポイント！

患者体表面にエア-ホースが接触すると熱傷のおそれがあるので注意する。



体温維持が難しい砕石位で効果を発揮する手術台に敷くタイプ

砕石位



【シーン：体位固定】

固定具のセッティング



Point 1 下腿への固定

ウォーミングブランケットを下腿に固定する場合は、タイストリップをスリットで切り離して患者の下腿にゆるく結ぶ。

※強く結ぶと血行不良の原因になる恐れがあります。



Point 2 上肢の位置を検討

上肢を出す場合は、スリットを開いて上肢を通すことができる。



Point 3 温風流路の確保

温風流路を確保するため、固定具や固定バンド等はウォーミングブランケットを開いてセットする。



ワンポイント！

マジックベット®等の陰圧式固定具使用時は、温風流路確保のため固定具の外側にウォーミングブランケットのスリットを開いた部分を設置する。



体温維持が難しい砕石位で効果を発揮する手術台に敷くタイプ

砕石位



【シーン：体位固定】

透明ヘッドドレープの使用

Point 1

頭部からの放熱を防ぐ

ブランケットに同梱されている透明ヘッドドレープは、保温カバーとして頭部を覆うと、頭部からの放熱を防ぐ効果がある。

ただし、気管内挿管による人工呼吸器の使用時にのみ使用する。



※気管内挿管による人工呼吸器の使用時以外に透明ヘッドドレープを使用しないこと。

Point 2

固定用粘着テープで固定

透明ヘッドドレープの一端には固定用粘着テープが付いており、ライナー紙をはがしてブランケットまたは手術台、患者のいずれかに固定することもできる。



体温維持が難しい砕石位で効果を発揮する手術台に敷くタイプ

砕石位



【シーン：体位固定】

温風流路の確認

Point 1

頭部・鼠径部～大腿部下の流路を確認

体位固定後、温風式加温装置を稼働させ、温風流路が圧迫されていないことを確認する。
砕石位では特に頭部と鼠径部の流路を確認するとよい。

<頭部>



<鼠径部～大腿部下>



体温維持が難しい砕石位で効果を発揮する手術台に敷くタイプ

砕石位



【シーン：皮膚消毒】 化学熱傷対策

Point 1 アイソレーションドレープの使用

ウォーミングブランケットには排液口があるが、消毒薬の貯留を防ぐために防水性のアイソレーションドレープ(未滅菌)で隔離する、または吸水パッドを使用するなどの工夫をする。

貼付時には、シワができないように
圧着してください。

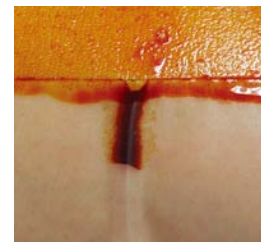
3 M™ ステリ・ドレープ™
アイソレーションドレープ

3 M™ ステリ・ドレープ™
アイソレーションドレープを
ブランケットの外に垂らします。



ワンポイント！

貼付時に粘着部にシワができる
と液垂れの原因になるため、シ
ワができないよう圧着する。



3 M™ ステリ・ドレープ™ アイソレーションドレープ (未滅菌)



しなやかなポリエチレンフィルムのドレープ。防水フィルムなので液体の浸透を防ぎ、バリア性が得られる。プリカットタイプと自由な長さにカットできるディスペンサー付ロールタイプがある。